

阪急・阪神 ひとえきウォーク

作家・村上春樹ゆかりの地を巡る
打出コース 約5km 阪神打出駅 ▶ 阪神西宮駅

少年時代から大学進学までの時期を阪神間で過ごした村上氏ゆかりの地を中心に巡るコース。村上氏が通った小学校や図書館、小説に登場するスポットに加え、四季折々の風景が楽しめる公園や美術館、歴史的建造物などもあり、見どころ満載です。



1 芦屋市立図書館打出分室
藁の絡まった重厚な石造りの外壁が特徴の図書館。その佇まいから、国の登録有形文化財に指定されている。村上氏が気に入ってよく通っていたとか。



2 葎原橋
緑豊かな夙川に架かる、横幅約1メートルほどの欄干の低い橋。村上氏のエッセイ『ランゲルハンス島の午後』では、「趣のある古い石の橋」と描写されている。



3 西宮砲台
幕末時代、黒船来襲に備えて勝海舟の勧めで築造。実際使われることはなかったが、高さ12メートルの巨大な砲台として、国の重要文化財に指定された。



4 西宮神社
福の神として崇敬されるえびす様をまつる神社の総本社。本殿は三連春日造(さんれんかすがづくり)という珍しい構造。毎年1月10日に行われる「開門神事・福男選び」も有名。

甲南女子大学と阪急阪神ホールディングスによる産学連携プロジェクト「ひとえきウォーク」。第2弾の舞台は西宮。文学部メディア表現学科の行成美和講師指導のもと、人間科学部生活環境学科と総合子ども学科の学生が地域の方々のサポートを得て3つのおでかけコースを発掘。10月15日にはウォーキングイベントも開催しました。ここでは各コースの見どころを紹介します。

西宮らしい四季折々の自然美を堪能 夙川コース 約6km 阪急夙川駅 ▶ 阪神西宮駅

3コースの中で最も距離の長い、豊かな自然を満喫できるコース。夙川沿いの道は、春は桜、夏は緑の並木、秋は紅葉と、季節によって様々な風景を楽しめます。公園内のベンチでゆっくり景色を眺めるのもおすすめです。



西宮ってこんな街！

大阪湾岸から六甲山の北部に至る、南北に細長い街。新年の福男選びで知られる西宮神社や、高校球児憧れの阪神甲子園球場があるほか、酒造りの地としても有名。最近では、ケーキ工房のある街、和菓子の街としても知られるようになってきたそう。

企画メンバーの声



◆コース開発のポイントは？

- ・高齢者の方でも歩きやすいよう、坂道や歩道のない道はできるだけ避けた。
- ・休憩ポイントとして、公園などのベンチの有無やトイレの位置をチェックした。
- ・車イスが通れる場所かどうかや、車イスで利用できるトイレがあるかどうかも調べた。
- ・西宮の自然、歴史や文化を感じながら、楽しく歩くことができるスポット・道順を選んだ。

◆実際にコースを歩いて感じたことは？

- <打出コース>**
- ・街についてほとんど知らなかったが、歩いてみてもっと調べたいと思えるスポットがたくさん見つかった。(学生)
 - ・自然を楽しめるコース設定で、市内にもたくさん緑があることが改めて分かった。(阪急阪神ホールディングス 担当者)
- <夙川コース>**
- ・映画『火垂るの墓』の舞台にもなったニテコ池をスポットに入れたことで、戦争について学びきっかけになった。(学生)
 - ・休憩ポイントとして小さな公園を入れるなど、新しい視点で街の魅力を発見してくれたのが良かった。(地域サポーター)

<今津コース>

- ・和ろうそくや樽(たる)の工場があることなど、歩いて初めて気付くことが多く、良い経験になった。(学生)
- ・酒造りを通じて生まれた町人文化や歴史を知ることができる、テーマ性のあるコースになったと思う。(地域サポーター)

スマートフォンアプリ「SkyDesk® Media Trek®」を活用

今回の授業では、道順や見どころスポットについて音声案内してくれるスマートフォンアプリ「SkyDesk® Media Trek®」を活用。スポットの魅力を伝える説明文を学生が考えました。
※「SkyDesk」「Media Trek」は富士ゼロックス株式会社の登録商標です。



1 カトリック夙川教会
昭和7(1932)年に完成した、ネオ・ゴシック様式の重厚な建物。阪神・淡路大震災で被災したが、修復を経て美しいステンドグラスや壮麗な外観を保持している。



2 ニテコ池
西宮神社の大練堀(おおねりべい)を作る際、土を掘り出した跡が池になったとの説も。その土を運ぶ人たちの「ネッテコイ、ネッテコイ」という掛け声が池の名になったとか。



3 旧山本家住宅
400坪の敷地内には、昭和初期の上質な暮らしを感じさせる和洋折衷様式の建物のほか、茶室を配した日本庭園も。国の登録有形文化財に指定されている。
※見学は要予約。入館には別途入館料が必要です。
☎0798-73-6677



4 マンボウトンネル(安井)
レンガ造りのトンネル。もともと水路として利用されていたところに板を敷いて通路にしたため、大変狭い。文豪・谷崎潤一郎の小説『細雪』に登場することでも知られている。

銘酒の郷で酒造りと歴史を体感 今津コース 約5.5km 阪神今津駅 ▶ 阪神西宮駅

酒造りの地として全国的に知られる今津郷と西宮郷を巡るコース。酒蔵や酒造道具メーカー、博物館など酒造関連のスポットはもとより、日本最古の灯台や地域の人々に親しまれている洋館など、街の文化と歴史も感じることができます。



1 今津小学校六角堂
西宮市立今津小学校内にある西洋風の木造校舎。明治15(1882)年に建てられてから現在まで、空襲や震災での崩壊を免れ、130年以上地域の人々に親しまれている。
※見学は学校授業日の午前中のみ。要予約。
☎0798-33-0923(今津小学校事務室)



2 今津灯台
創建206年の歴史を持つ日本最古の現役灯台。昭和59(1984)年に創建当時の姿に復元された。木造で、高さは基礎部分を含めて約7メートル。



3 白鹿記念酒造博物館
明治2(1869)年建築の酒蔵を利用し酒造道具や釜場跡などを紹介する「酒蔵館」と、酒器や酒に関する文献のほか桜の工芸品や資料も展示する「記念館」で構成。
※入館には別途入館料が必要です。



4 宮水庭園/宮水発祥の地
酒造りに欠かせない宮水の井戸が集まる庭園。ここには大関、白鹿(辰馬本家酒造)、白鷹の井戸が、また、近くには宮水発祥の地と伝えられる梅の木井戸と石碑も。
※宮水庭園、宮水発祥の地は構外の見学となります。